

第2章 市立中学校における部活動の現状と課題

1 中学校数及び生徒数

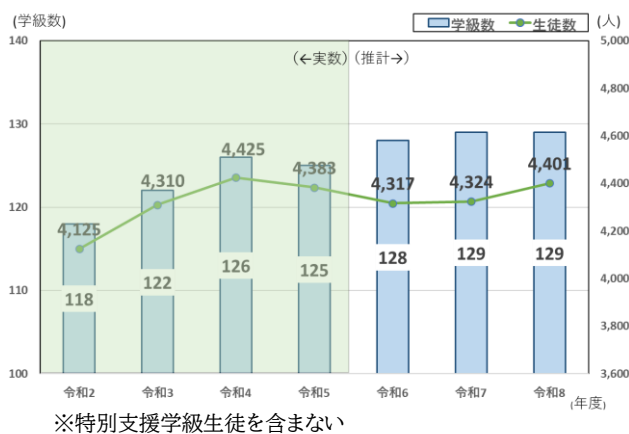
市立中学校は8校あり、令和6年4月1日現在で、生徒数は4,441人となっています。

全国的に少子化が進展する中、本市では、令和元年度から増加傾向が続き、令和5年度に減少に転じましたが、令和7年度からは増加する見込みです。

また、調布市将来人口推計(令和4年3月)では、今後微増傾向が続き、令和11年をピークに減少に転じる見込みとなっています。

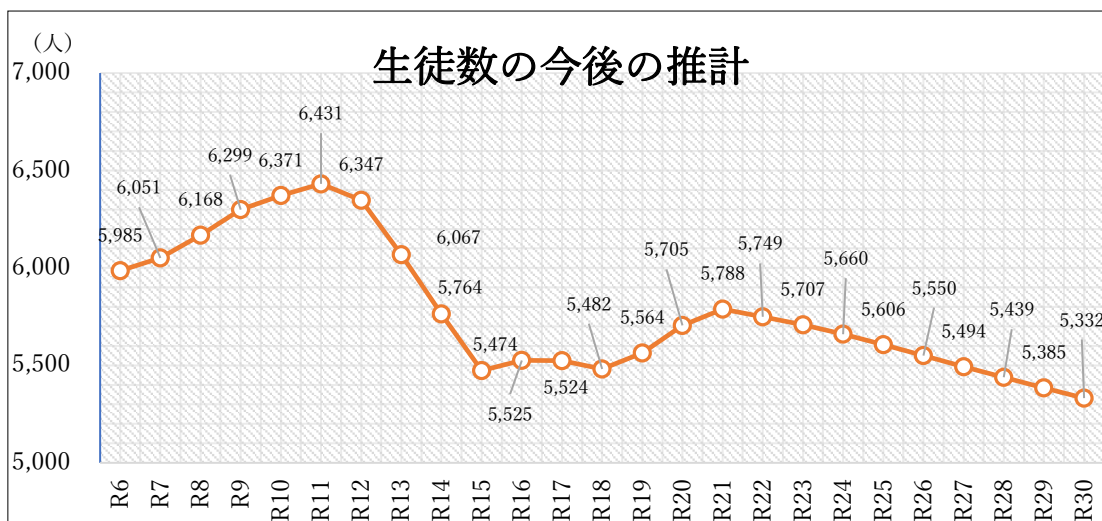
○市立中学校の在籍生徒数の推計

※令和5年度市立小・中学校児童・生徒数及び学級数の推計について
(令和5年12月)



○中学生(12~14歳)人口の推計

※調布市将来人口推計(令和4年3月)



2 部活動数, 部員数及び参加率(令和6年5月1日現在)

令和6(2024)年5月1日現在, 市立中学校に設置されている部活動数は, 運動部活動が 78部, 文化部活動が 46部, 部員数は 3,593人, 参加率は運動部 51.4%, 文化部 29.5%, 合計 80.9%となっています。

近年, 部活動数に変動はみられませんが, 生徒数が増加している反面, 部員数や参加率は減少傾向にあります。

また, 部員数が少ないことで, 試合への出場選手数を満たせないなど, 学校単位での活動が困難になっている状況が一部で見られ, 今後の生徒数の減少を見据えると, このような状況が拡大することが想定されます。

なお, 一部の学校にしかない部活動があり, 生徒の多様なニーズに応じた活動場所が必ずしも提供されていない可能性があります。

○市立中学校部活動数, 部員数, 参加率の推移(各年5月1日現在)

※市調査

年度	部活動数(部)			在籍生徒数 (人)	部員数(人)			参加率
	運動部	文化部	合計		運動部	文化部	合計	
令和元年度	78	45	123	4,008	2,299	1,227	3,526	88.0%
令和2年度	78	44	122	4,215	2,292	1,365	3,657	86.8%
令和3年度	83	43	126	4,396	2,500	1,430	3,930	89.4%
令和4年度	79	44	123	4,456	2,456	1,373	3,829	85.9%
令和5年度	78	42	120	4,462	2,375	1,365	3,740	83.8%
令和6年度	78	46	124	4,441	2,284	1,309	3,593	80.9%

○市立中学校部活動(運動部)設置状況と部員数(令和6年5月現在)

※令和6年度市調査

(単位:人)

No	種別	性別	調布中	神代中	三中	四中	五中	六中	七中	八中	合計
1	サッカー	男	25	47	13		17	32	16	29	179
		女					1				1
2	バスケットボール	男	30	43	22	28	51	26	22	22	244
		女	12	20	28	19	21	29	35	18	182
3	バレーボール	男		27		33	30			9	99
		女	21		32	33	38	30	11	14	179
4	硬式テニス	男					2		35	27	64
		女		36					23	33	92
5	ソフトテニス	男	25		22		16				63
		女	22		28		42	21			113
6	卓球	男		44	31		23		7	18	123
		女		34	17		15		3	5	74
7	バドミントン	男		47	29		9	25	26		136
		女		47	25		18	20	18		128
8	ラグビー	男		33							33
		女									0
9	軟式野球	男	10	25	22	19	23	18	25	20	162
		女	1	1			3				5
10	ソフトボール	男									0
		女	12	23							35
11	剣道	男	21	17							38
		女	6	17							23
12	弓道	男	23								23
		女	26								26
13	陸上競技	男	21	22	24		30		28		125
		女	8	33	8		20		14		83
14	水泳	男	18								18
		女	9								9
15	ダンス	男									0
		女			9	17				18	44
16	空手	男					2				2
		女									0
運動部合計		男	173	305	163	80	203	101	159	125	1,309
		女	117	211	147	69	158	100	104	88	994
		合計	290	516	310	149	361	201	263	213	2,303
		部活動数	11	12	10	5	14	7	10	9	78

…男女別の部活動

○市立中学校部活動(文化部)設置状況と部員数(令和6年5月現在)

※令和6年度市調査

(単位:人)

No	種別	性別	調布中	神代中	三中	四中	五中	六中	七中	八中	合計
1	吹奏楽・ プラスパ ンド	男	9	6	24	10	13				62
		女	25	32	50	23	27		27		184
2	合唱	男		11			6	3	4		24
		女		49			20	16	12		97
3	音楽	男									0
		女								4	4
4	和太鼓	男	25								25
		女	40								40
5	美術	男	14	6	6	7	9	3	2	1	48
		女	39	48	54	33	54	11	34	9	282
6	演劇	男			2						2
		女			9						9
7	家庭	男					3				3
		女					16				16
8	服飾	男									0
		女									0
9	PC・コン ピュータ	男						18		15	33
		女						5		2	7
10	文芸	男							1		1
		女							15		15
11	茶道	男			1					4	5
		女			13					17	30
12	茶道・華 道	男			4						4
		女			8						8
13	囲碁	男			22			8			30
		女						3			3
14	将棋	男				7			12		19
		女				4					4
15	科学	男				13					13
		女				7					7
16	理科	男		16			23				39
		女		45			2				47
17	英語	男					55				55
		女					8				8
18	ボラン ティア	男					1				1
		女					26				26
19	園芸	男								8	8
		女								15	15
20	日本文化	男	1								1
		女	7								7
21	検定チャ レンジ	男	37								37
		女	8								8
22	11組クラ ブ	男		14							14
		女		2							2
23	検定	男									0
		女						3			3
24	パズル	男						14			14
		女						3			3
25	競技かる た	男						6			6
		女						2			2
26	手工芸	男						1			1
		女						23			23
27	鉄道研究 部	男								13	13
		女								1	1
文化部合計		男	86	53	54	42	110	53	19	41	458
		女	119	176	113	88	153	66	88	48	851
		合計	205	229	167	130	263	119	107	89	1,309
		部活動数	5	5	4	6	7	8	5	6	46

…男女別の部活動

3 休日の部活動の実態

「調布市立中学校に係る運動・文化部活動の方針」では、休日に部活動を行う場合は、土曜日か日曜日のいずれかを休養日とし、1日の活動時間は原則3時間程度と定めています。本方針に示す休養日及び活動時間に基づき、市立中学校は、休日の部活動を行っています。

令和5(2023)年度に市立中学校を対象に実施した部活動の実施状況等調査では、休日に毎週活動している部活動の割合は、運動部で約97%、文化部で約23%となっています。

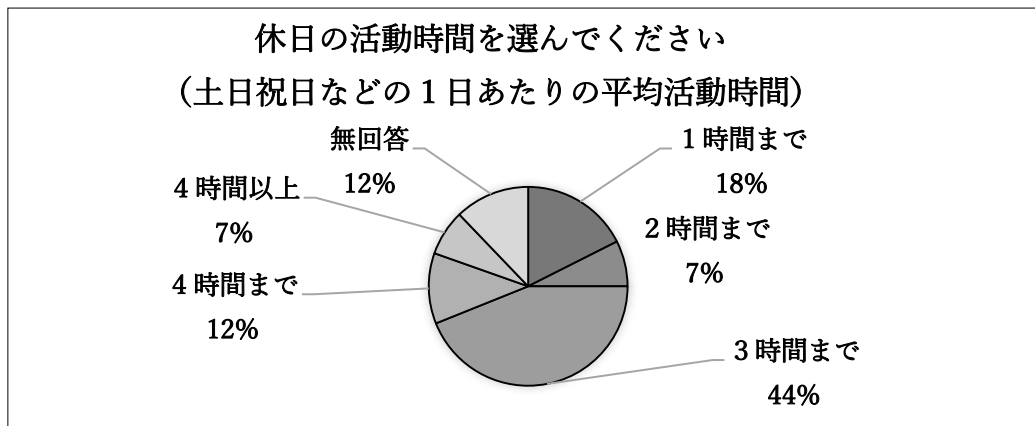
また、教員に対する部活動に関するアンケート調査(令和4年12月)では、休日の活動時間は、3時間までが最も多い一方で、3時間以上活動している部活動も一定数あることが分かりました。

○調布市立中学校における運動・文化部活動の方針(一部抜粋)

活動時間	1日の活動時間は、通常授業日の平日では準備・片付けを含め2時間30分程度、週休日(祝日等を含む)及び、長期休業中は原則3時間程度(準備・片付けを含む)とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
休養日	ア 学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。(平日は少なくとも1日、週休日は少なくとも1日を休養日とし、休養日が確保できなかった場合は、他の日に振り替える。) イ 長期休業中の休養日の設定についても、アに準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、長期の休養期間(5日以上)を設ける。

○部活動の休日の活動時間

※教員向け部活動に関するアンケート調査(令和4年12月) ※調布市調査



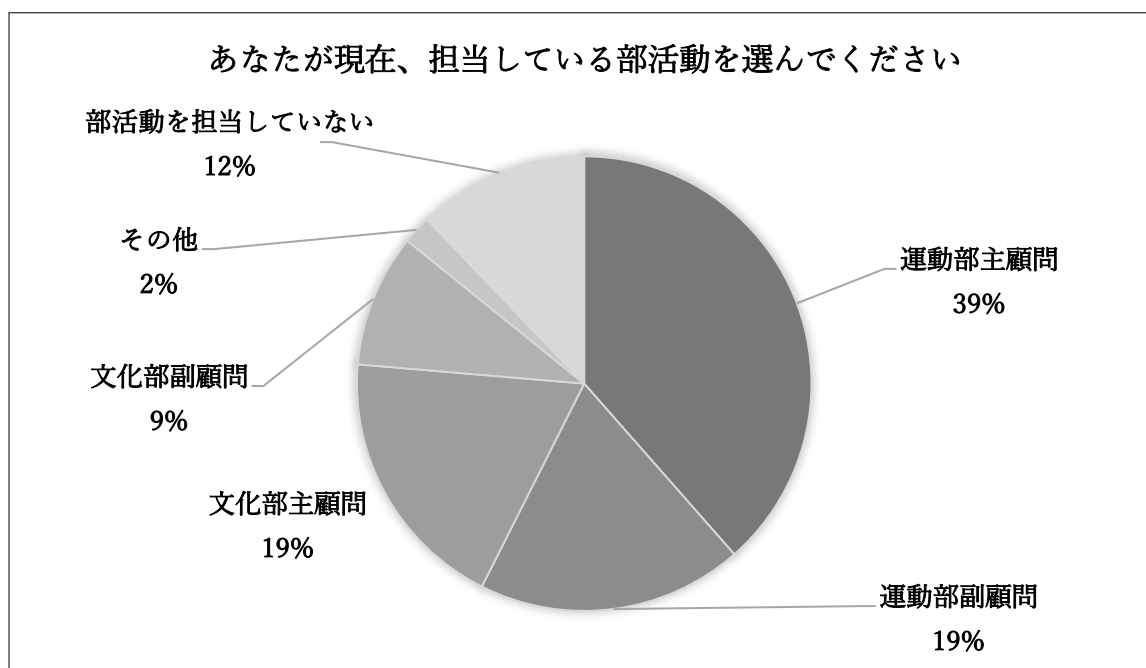
4 部活動指導に対する教員の実態

教員に対する部活動に関するアンケート調査(令和4年12月)において、部活動を担当する教員の割合は、顧問58%、副顧問28%であり、約9割の教員が、何らかの形で部活動指導に携わっていることとなります。

一方で、令和5年度部活動実施状況調査によると、部活動顧問(教員)のうち、専門的な技術指導ができる割合が運動部、文化部ともに約60%にとどまっており、一部の部活動では、教員が顧問として技術指導に携わるのが難しい状況となっています。

○教員が担当している部活動

※教員向け部活動に関するアンケート調査(令和4年12月) (調布市調査)



5 部活動を担う教員の負担

① 長時間勤務の実態

令和5年度(2023年度)の市立中学校教員の1人当たりの月平均時間外勤務は、約35.5時間、時間外勤務が45時間から80時間未満が54人(28%)、80時間以上が8人(4%)です。なお、年度を通じて、一度でも月の時間外勤務が80時間※を超えた教員の割合は16%であり、多くの教員が長時間勤務の状態にあります。

※月の時間外勤務が80時間を超えると健康障害のリスクが高まるため、80時間は過労死ラインと呼ばれています。

また、令和5年(2023年)4月に文部科学省が実施した「教員勤務実態調査(令和4年度)の集計」によると、中学校教諭の土日の在校等時間※2時間18分のうち、1時間29分が「部活動・クラブ活動」を事由とした在校等時間であり、多くの教員が部活動を理由に土日の勤務に従事しています。

※在校している時間に、校外において生徒の引率等の職務に従事している時間等を加え、休憩時間等を除いた時間

② 教員の意識

東京都教育委員会が、公立中学校等622校を対象に実施した、「未来へつなぐ部活動改革アンケート集計結果(令和6年度)」によると、部活動の指導や運営を負担に感じている、やや感じている教員が約76%います。

教員が、現在指導している部活動について困っていることとして、46.1%が「家族との時間や自分の趣味・研究に費やす時間がない」、37.5%が「休みがない・少ない」と回答をしています。

また、部活動の指導や運営により支障が生じている業務として、71.2%が「教材研究」、50.3%が「生徒指導(補習や面談など)」を挙げています。

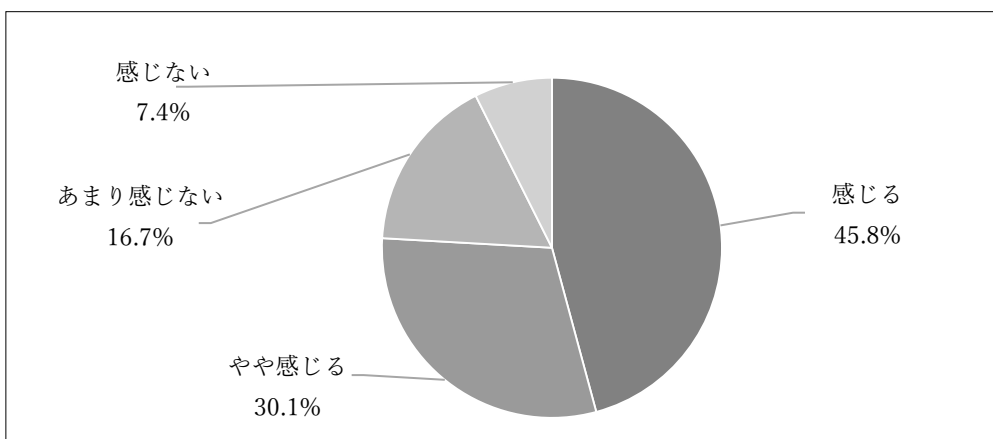
更に、市の調査では、休日の部活動が地域に移行された場合に、地域人材に任せたいと回答した教員は58%、兼職・兼業をして引き続き指導したいと考えている教員は22%でした。

このように、多くの教員に部活動の指導や運営を事由とした長時間勤務の実態があり、教員が主体となり指導を行う部活動を継続することが困難な状況にあります。

○現在、部活動の指導や運営に負担を感じていますか。

※未来へつなぐ部活動改革アンケート(令和6年度)(東京都調査)

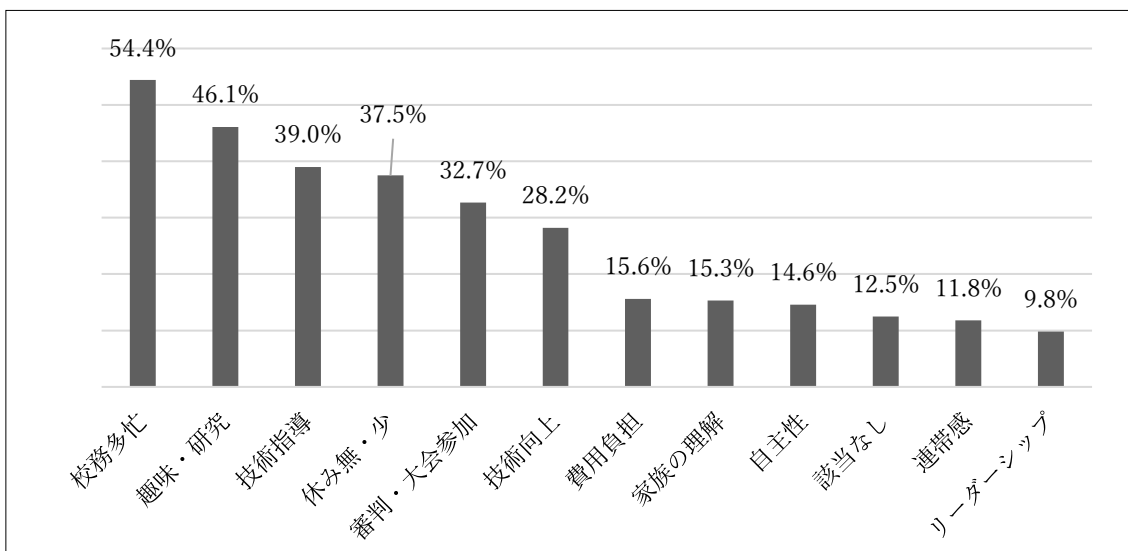
感じる	やや感じる	あまり感じない	感じない
1,921	1,261	701	311
45.8%	30.1%	16.7%	7.4%



○現在、指導している部活動について、困っていることは何ですか。

※未来へつなぐ部活動改革アンケート(令和6年度)(東京都調査)

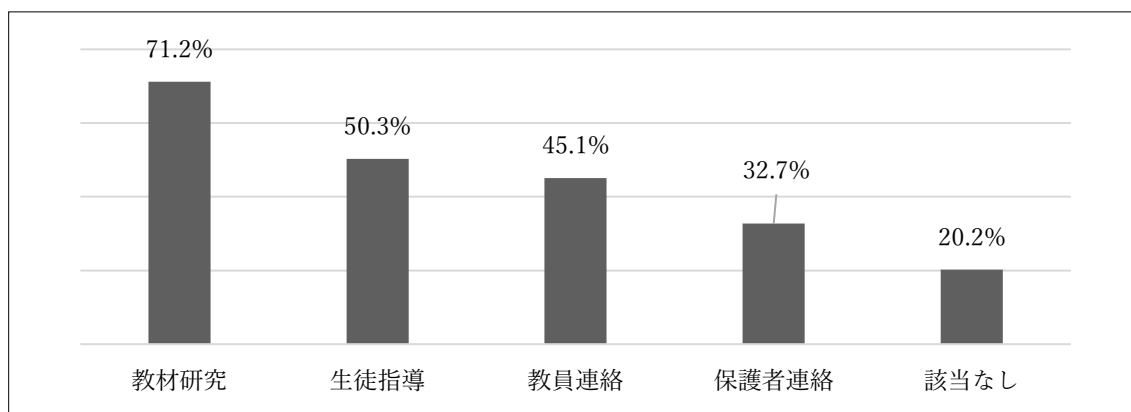
校務多忙	趣味・研究	技術指導	休み無・少	審判・大会参加	技能向上	費用負担	家族の理解	自主性	該当なし	連帯感	リーダーシップ
2,281	1,935	1,635	1,572	1,370	1,182	656	641	614	524	493	413
54.4%	46.1%	39.0%	37.5%	32.7%	28.2%	15.6%	15.3%	14.6%	12.5%	11.8%	9.8%



○現在、部活動の指導や運営によって、どのような業務に支障が生じていますか。

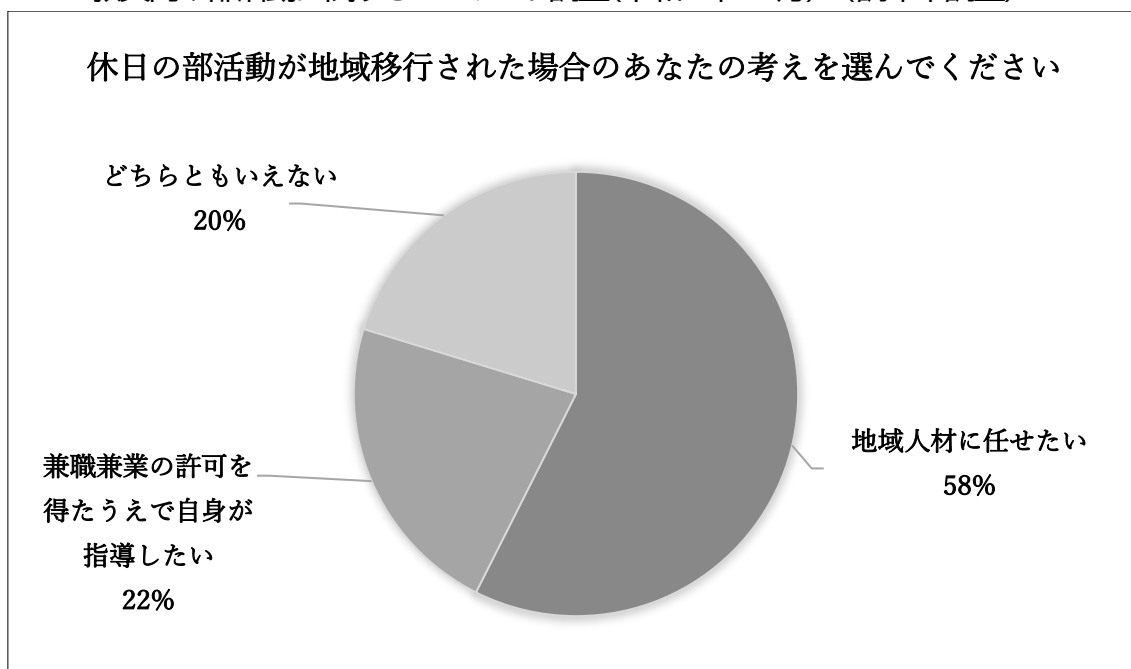
※未来へつなぐ部活動改革アンケート(令和6年度)(東京都調査)

教材研究	生徒指導	教員連絡	保護者連絡	該当なし
2,985	2,108	1,890	1,370	846
71.2%	50.3%	45.1%	32.7%	20.2%



○休日の部活動が地域移行された場合の考え

※教員向け部活動に関するアンケート調査(令和4年12月)(調布市調査)



6 部活動の地域連携の状況

本市においては、部活動の技術指導等について、教員に代わって技術指導や大会等への単独で引率を行うことができる部活動指導員や、教員をサポートする部活動外部指導員及び部活動外部指導補助員が部活動指導に携わっています。

令和5年度の実績としては、部活動指導員は約14%、部活動外部指導員は約29%の部活動での活動にとどまっていることから、専門的な技術指導を行うため、今後は更なる地域人材の確保・配置が必要です。

しかし、学校によっては、指導員の配置が必要な部活動に対して、適切な地域人材が見つからないケースや、仕事や家庭の都合等で指導員が辞めてしまうケースも見られることから、安定的な人材確保が課題です。

◀部活動指導員及び部活動外部指導員の配置部活動数、配置人数、活動数の推移▶

年度	部活動数	部活動指導員 (会計年度任用職員)				部活動外部指導員 (有償ボランティア)			
		配置部活動数	割合	配置人数	活動時間数	配置部活動数	割合	配置人数	活動時間数
H31	123					35	28.5%	76	5,266
R2	122					44	36.1%	68	3,989
R3	126					44	34.9%	83	5,333
R4	123	5	4.1%	5	1,975	44	35.8%	71	5,523
R5	120	17	14.2%	18	5,788	35	29.2%	68	5,711

○部活動における主な役割

※学校部活動及び地域クラブ活動に関する総合的なガイドライン(東京都)

主な役割(職務)	教員	部活動指導員	外部指導者
●実技指導	○	○	○
●安全・障害予防に関する知識・技能の指導	○	○	○
●事故が発生した場合の現場対応	○	○	○
●用具・施設の点検・管理	○	○	△
●部活動中の事故防止、安全対策	○	○	△
●学校外での活動(大会・練習試合等)の引率	○	○	△
●保護者等への連絡	○	○	
●年間・月間指導計画の作成	○	○	
●生徒指導に係る対応	○	○	
●外部の指導者との連絡・調整	○	○	
●部活動の管理運営(会計管理等)	○	△	
●担任との連絡・調整	○	△	
●地域との連絡・調整	○	△	
●大会主催者との連絡・調整	○	△	
●広報活動	○	△	

※△：配置校の校長や教育委員会が必要と認める事項

7 生徒の意識

調布市立中学校の生徒を対象に行った令和4年度のアンケート調査では、部活動に所属する目的について、「友達と楽しく活動できる」が最も多く、次いで、「体力や技術を向上させることができる」「大会・コンクール等でよい成績をえることができる」「チームワークや協調性を身につけることができる」となっています。競技志向を求める生徒がいる一方で、エンジョイ志向の回答が最も高い結果となっています。

「休日の部活動が地域移行した場合、現在取り組んでいる種目以外に、どのような種目の活動をやってみたいと思いますか」という問いに対しては、運動系、文化系ともに様々な回答がありました。現在ある部活動を地域クラブに移行することはもとより、生徒の多様なニーズに対応した活動機会の確保も求められます。

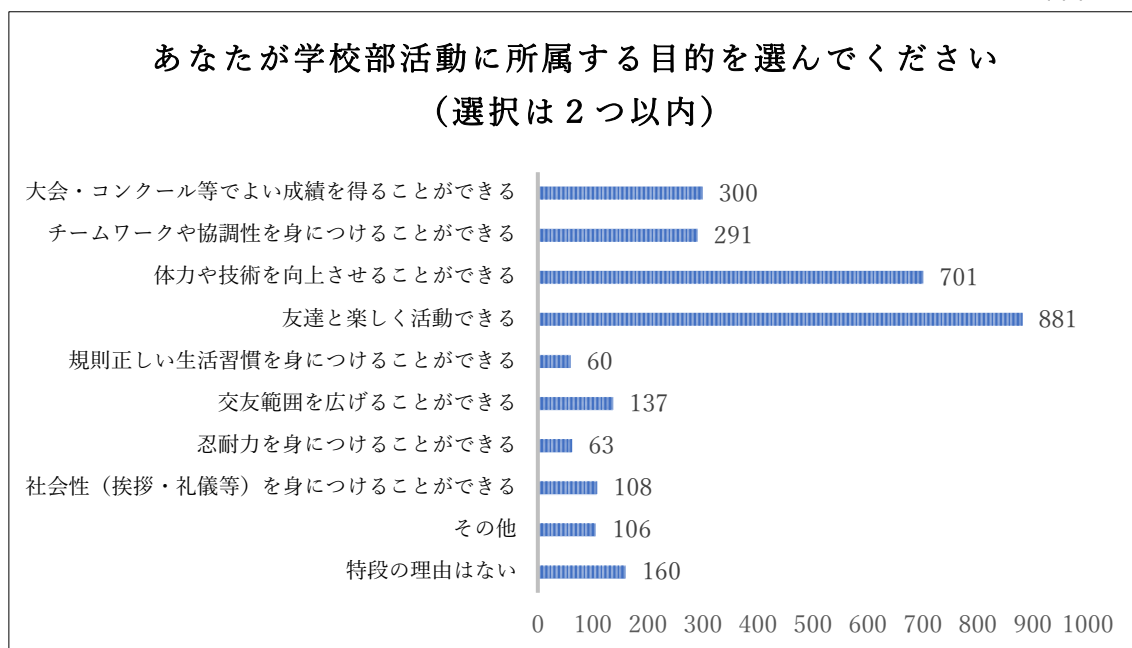
また、部活動が地域移行されることの期待としては、「指導の専門性」や「活動の選択肢が増える」、「地域との交流」などが挙げられた一方で、不安としては、「平日と休日で指導者が変わる場合があること」、「希望する活動があるかどうか」などが多く、また、「金銭面での負担」などの回答も一定数あります。

合わせて、令和6年度に実施した児童・生徒向けアンケート調査の結果も踏まえ、今後、生徒の意見を踏まえた取組を検討する必要があります。

○部活動の所属目的

※生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和4年12月) ※調布市調査

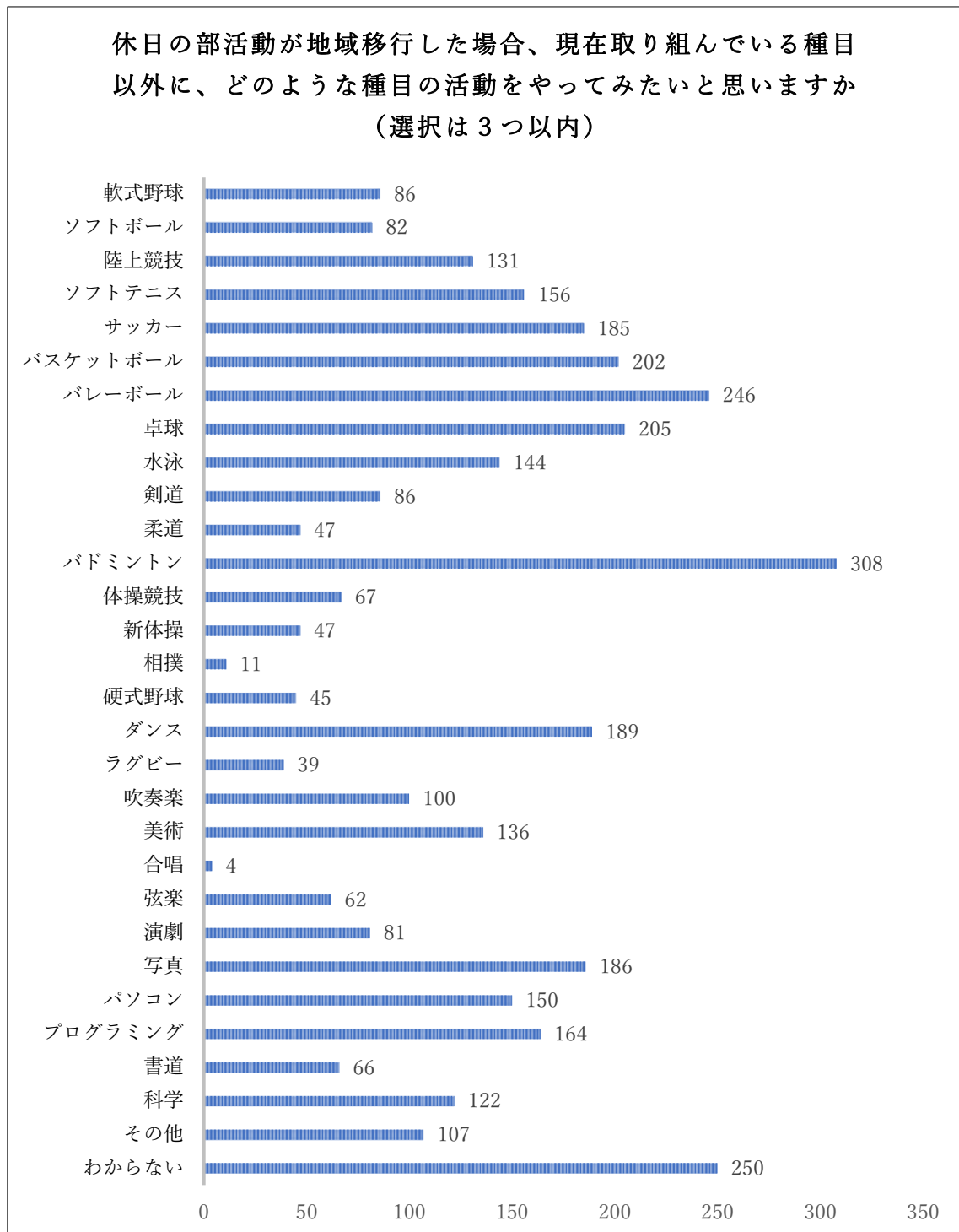
(単位:人)



○休日活動のニーズ

※生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和4年12月) ※調布市調査

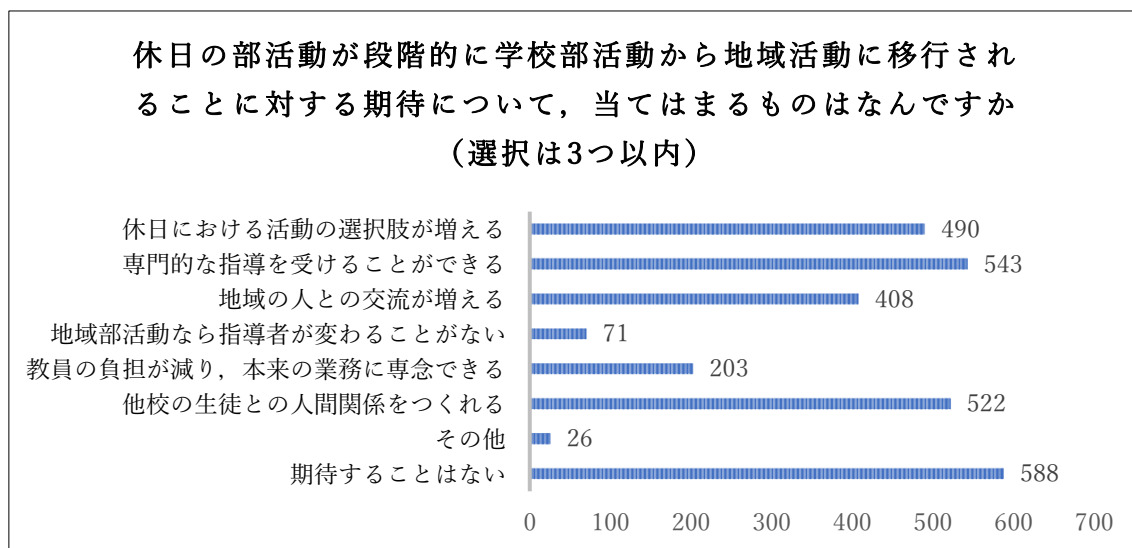
(単位:人)



○部活動地域移行への期待

※生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和4年12月) ※調布市調査

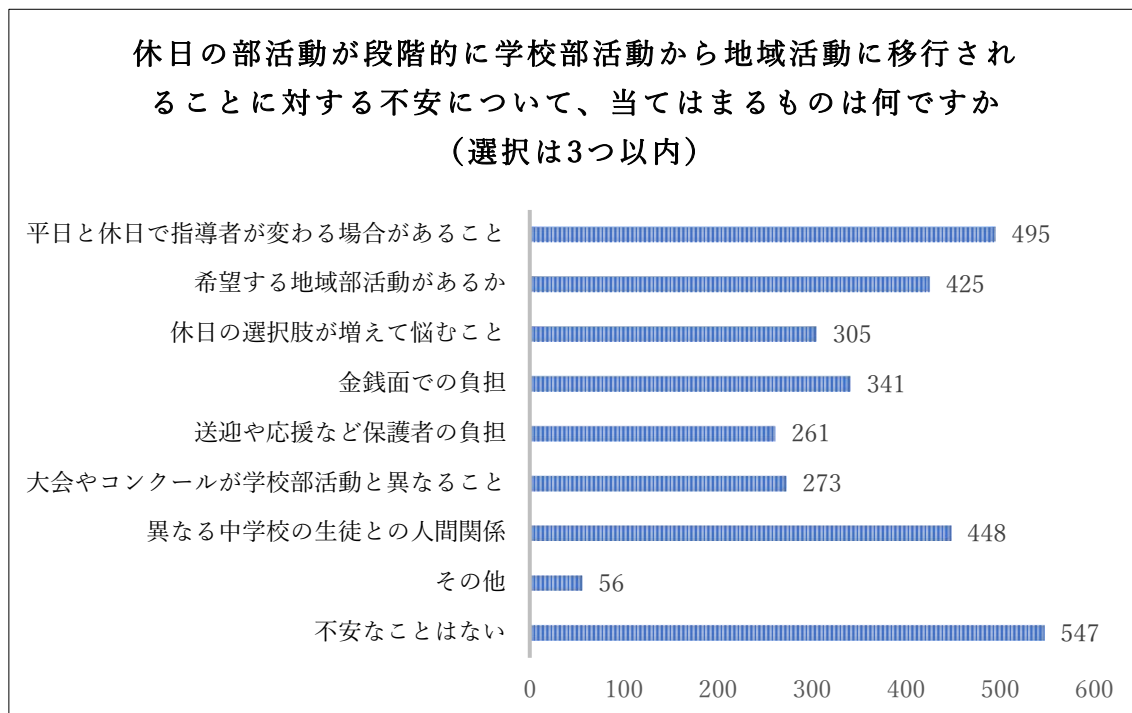
(単位:人)



○部活動地域移行への不安

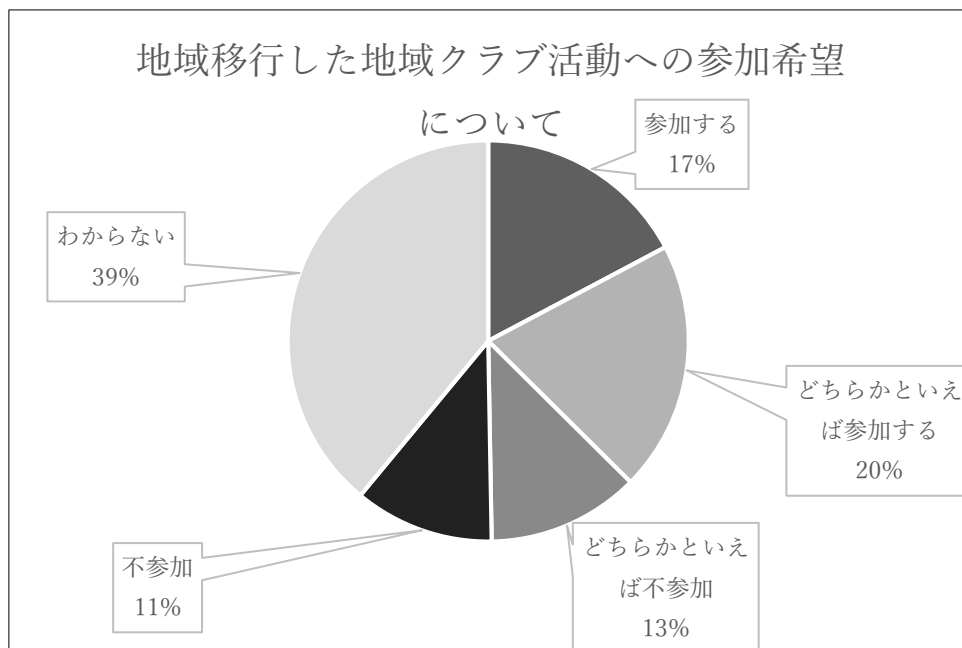
※生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和4年12月) ※調布市調査

(単位:人)



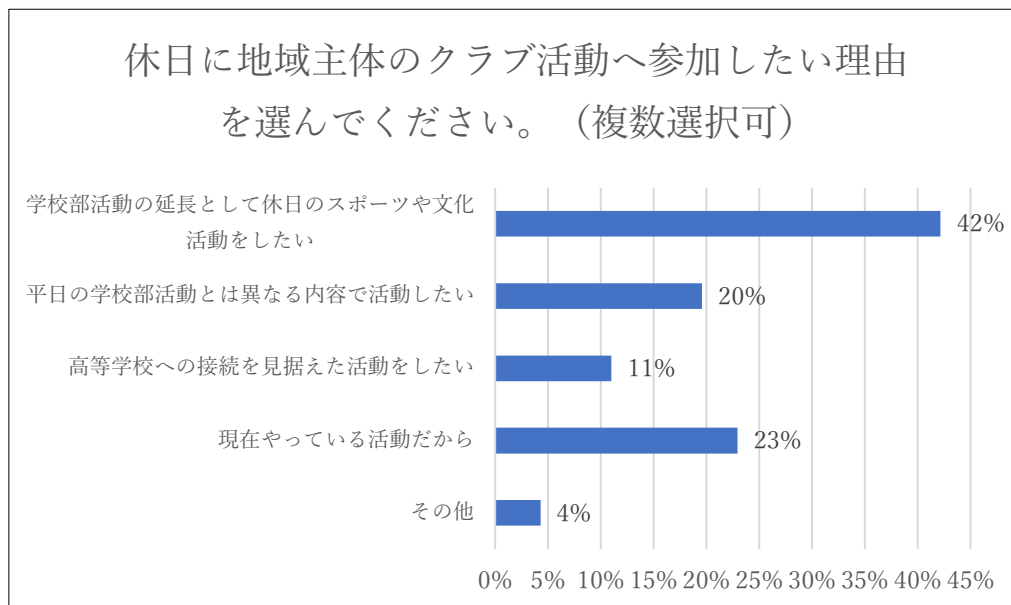
○地域クラブ活動への参加希望

※児童・生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和6年9月) ※調布市調査



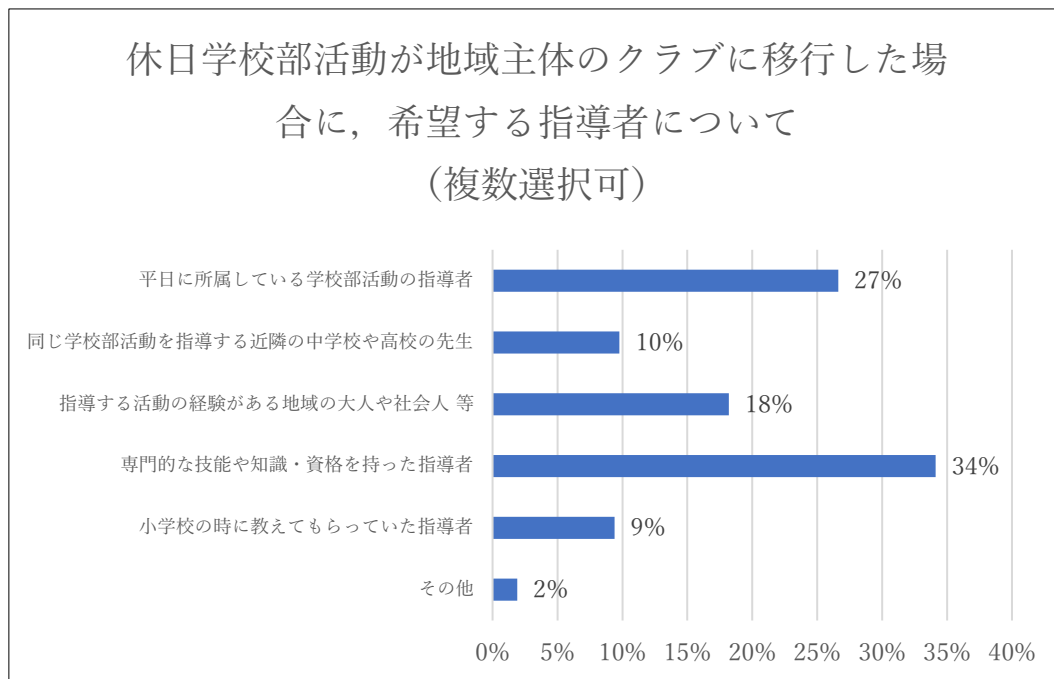
○地域クラブ活動への参加理由

※児童・生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和6年9月) ※調布市調査



○地域クラブ活動における希望する指導者

※児童・生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和6年9月) ※調布市調査



○地域クラブ活動に求めるもの

※児童・生徒向け部活動に関するアンケート調査(令和6年9月) ※調布市調査

